

魚沼市次世代育成支援行動計画(後期計画)平成26年度事業評価シート

連番	支援事業別基本方針等 施策(網掛け)及び取組・事業	事業の内容	部署	21年度	22~26年度	事業実施状況			事業評価欄			評価部署 点数(備考)				
						評価除外	26年度実施事業	26年度公表対象事業	進捗状況(内容)				評価		課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等
									判定	項目点	検証の状況					
10	子育て施設の有効利用の促進															
11	保育園・幼稚園の開放	地域子育て支援センターとしての機能を強化し、開放日を増やす取組をする。(愛称:親子ふれあい教室)	子ども課	実施	強化継続		○	○	守門幼稚園を除く公立・私立の各園が毎月1回程度実施 公立園での参加者数は12月現在400組と昨年度とほぼ同数	A	4.3	済	入園前に園の様子を見る機会になっている。母親同士が顔なじみとなり情報交換や交流の場となっている。また、祖母の参加が増えた園もあった。	堀之内子育て支援センターの機能移転もあり、これまで以上に園での開放事業に力を入れる必要がある。メール配信システムを用いての周知等広報を工夫する。	子ども課 4	
14	子育て支援センター開放	月曜日から金曜日の午前9:00から15:00(祝祭日、年末年始は除く) 「親子ふれあい広場」(小出のみ第2土曜日も解放) 年末年始を除く、日曜日、祭日の昼間開放の検討 曜日や時間帯で希望者が利用可能 年齢別に開放日を設けて希望者が利用	子ども課	実施	継続		○	○	堀之内子育て支援センターでは平日の9:00~15:00、 小出子育て支援センターでは平日の9:00~16:00及び第1・第2土曜日の9:00~11:30の広場開放を実施 延べ利用者(1月末現在) 堀之内:4,874人 小出:16,247人	B	3.3	済	ストレスを抱えた保護者の孤立化を防ぎ、広場事業などに気軽に参加することができる環境整備が課題であるが、事業参加者が、子どもを中心に交流し、さまざまな情報交換や、職員への相談を通して子育てへの不安を軽減している。 特に、小出子育て支援センターは、利用者が増加している。	現状どおり実施する。 子ども子育て支援ニーズ調査の結果(支援センターの土曜開放日を増やしてほしい)を踏まえ、小出子育て支援センターの土曜日広場開放を毎週実施する。	子ども課 3	
22	乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)の充実															
23	乳幼児健康支援サービス事業	通称「病後児保育」と言われている病気の回復期の保育事業	子ども課	実施	継続		○	○	堀之内子育て支援センターで、病後児保育を実施 延べ利用者21人(1月末現在)	B	3.3	済	利用手続きが煩雑で利用しにくいとの意見が寄せられている。 また、病児保育の要望も年間数件ある。 (医師や看護師が常駐する施設で無いため、看護師の確保と児の様子把握のために前日までの申し込みとしている。)	堀之内子育て支援センターの機能移転後も、仕事と子育てをする家庭に安心してもらうため事業周知に努める。平成28年度から病児保育も含め、新小出病院内で病児保育及び病後児保育の開設について検討する。これに伴い、子育て支援センターで実施している病後児保育は廃止する。	子ども課 3	
43	地域子育て支援センター事業															
50	出張子育て支援センター(すくすく広場)	市内中心から遠方の守門・入広瀬地区に対する子育て支援	子ども課	実施	継続		○	○	守門会場・入広瀬会場とも、年10回開催 守門会場・入広瀬会場とも9回開催し、守門延89人、入広瀬延55人参加(1月末現在)	B	3.3	済	子育て支援センターから遠方に住む保護者からは喜ばれている。	子育て支援センターから遠方の地域については、地域に密着した保育園・幼稚園と連携し、子育て支援・保護者支援体制の充実に努める。	子ども課 3	
51	保育園、幼稚園開放と子育て相談の推進															
52	保育園での育児相談	地域子育て支援センターとしての機能強化	子ども課	実施	強化継続		○	○	園の開放に合わせて実施 子どもを遊ばせる中で育児相談を受付	A	4.3	済	育児相談、入園の手続きなど、様々な相談を受けている。 安心感をもって相談していただけるよう、子どもの様子をよく聞きながら対応策等の助言をしている。	これまで以上に相談しやすい雰囲気づくりを大切に、一人ひとりの困り感に誠意をもって対応するよう研修に努める。	子ども課 4	
54	様々な社会資源や団体の連携による児童健全育成の取り組み															
55	うおぬま放課後子ども教室	放課後の活動として、地域からの支援を得ながら、多様な体験活動や子ども間の交流、地域の教育力支援を通じ、児童の健全育成を行う。	生涯学習課	実施	継続		○	○	学校の空き教室等を活用して市内9校のうち6校で実施 ほりのうち教室では、放課後児童クラブとの連携を実施	A	4.3	済	放課後の居場所づくりとして6小学校で実施しており、参加者からの評価は高い。安全管理・ボランティアの確保が課題である。	放課後児童クラブと連携など、子どもたちを取り巻く全体的な放課後活動の支援対策を検討する。	生涯学習課 4	
56	子育てセミナー	小学校就学時健診時・中学校入学説明会時等の保護者が集まる機会を利用し、家庭における教育、子育てについての現代的課題や大切なことを学習する。	生涯学習課	実施	継続		○	○	小学校「入学前に心得ておきたいこと」 参加者:保護者300人(市内小学校全校で開催) 講師:元小学校長、特別支援教育士 中学校「中学校への入学に関しての心構え」 「ネットなどメディアとの付き合い方」 参加者:326人(保護者300人+児童26人) 講師:元中学校長、小出警察生活安全課長	A	4.3	済	事業効果を高めるため、多くの保護者が参加する場である就学健診時や学校入学説明会などを利用して、時事のテーマを取り入れて家庭教育セミナーを開催している。	現状どおり、学校等と連携して実施する。	生涯学習課 4	
60	親になるための準備と産じょ期支援															
62	パパ・ママ準備教室	これからパパ、ママになる方を対象に学習会(妊婦疑似体験やマタニティリラクゼーションの実技)と話し合いを実施	健康増進室	実施	継続		○	○	講話とマタニティリラクゼーションの実技を入れて実施 参加者:23組(妊婦のみ参加5組)(2月末現在)	A	4.3	済	アンケート結果のまとめを見ると妊婦疑似体験や話し合いの実施により、妻を労う言葉が聞かれ、話し合いにより自身の不安等が軽減されている。	医療機関と連携を図り、内容について検討する。	健康増進室 4	
66	健康増進事業の充実															
70	1歳よちよち教室	虫歯予防の話や歯みがきの指導、子どもの生活習慣や親子のかかわりの大切さ等について話します。	健康増進室	実施	内容を精査して継続		○	○	10回実施(1月末現在)	B	4.0		教室に参加することで、保護者の意識の啓発につながっている。個別の相談も実施しているため、育児不安の軽減にもつながっていると思われる。	継続して実施する。	健康増進室 4	
74	乳幼児・妊産婦健康相談会	乳幼児や妊産婦の健康に関する相談	健康増進室	実施	内容を精査して継続		○	○	各事業の中で相談対応をしている。 特に妊婦に対しては、母子健康手帳発行時に健康相談を実施 相談窓口の周知を図るため相談先カードを配布	B	4.0		母子健康手帳発行時に健康相談を実施することで支援の必要な妊婦、家庭に早くから対応して、乳幼児期まで継続した支援に繋がっている。	各事業の中で継続して実施する。	健康増進室 4	

魚沼市次世代育成支援行動計画(後期計画)平成26年度事業評価シート

連番	支援事業別基本方針等 施策(網掛け)及び取組・事業	事業の内容	部署	21年度	22~26年度	事業実施状況			事業評価欄			評価部署 点数 (備考)			
						評価除外	26年度実施事業	26年度公表対象事業	評価		検証の状況		課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等	
									進捗状況(内容)	判定					項目点
83	「食育計画」に基づいた食育の推進														
84	離乳食講習会(ステップ1)	離乳食の進め方の話や試食、望ましい食生活を考える。	健康増進室	実施	継続		○	○	10回実施済み(1月末現在)対象者の6割以上が参加 第1子の参加者は、7割以上だしを活用した適塩教育を実施	B	4.0			健康増進室 4	
85	離乳食講習会(ステップ2)	2回食~3回食への進め方のお話、試食、望ましい食生活を考える。	健康増進室	実施	継続		○	○	10回実施済み(1月末現在)対象者の5割以上が参加 第1子の参加者は、8割以上	B	3.0	1歳6か月健診時の食事点検票で、離乳食講習会参加者はずす味に気をつけている割合が高く、得点も高い傾向が続いている。 現状どおり実施する。		健康増進室 3	
86	離乳食講習会(ステップ3)	完了期から幼児食への進め方おやつについての話、展示等を通し、望ましい食生活を考える。 手造り体験をとおして幼児期の食生活について考える。	健康増進室	実施			○	○	5回実施済み(1月末現在)第1子の参加者は、6割	B	3.0			健康増進室 3	
101	確かな学力の向上														
102	外国語指導助手(ALT)招致事業	ALTによる外国語教育の充実を図りながら、国際理解の教育を推進	学校教育課	実施	継続				外国人ALT2名、日本人ALT1名で実施	B	3.0	未	外国人ALTと接することで児童生徒が英語や外国文化に興味を持ち、国際理解を進める素地を醸成することに寄与した。 ALTの一層の有効活用を検討する。	ALTの勤務時間の曜日による割り振りを変更することにより、学校の派遣要望に柔軟に対応し、一層の活用を図る。 学校の長期休業期間中のALTの活用について検討する必要がある。	学校教育課 3
109	健やかな体の育成														
111	魚沼の自然環境学習推進事業	「魚沼尾瀬学校」や銀山平での宿泊体験活動	学校教育課	実施			○	○	市立小学校の5年生 平成26年度は6月中旬から7月下旬にかけて297人の児童が参加	A	4.3	済	尾瀬の自然を学習することにより、自然保護意識が育まれた。	今年度並みの事業内容としたい。	学校教育課 4
127	子どもたちの文化的活動の推進														
128	地区公民館・分館講座	親子陶芸教室、料理教室、工作教室などものづくりを通じて感性を培い、書道教室、抹茶教室など日本文化に親しみ教養を深める。	生涯学習課				○	○	夏休み、冬休みの期間にチラシ、広報を通じ募集し実施	A	4.3	済	旧町村を越えた参加もあり好評を得ている。	ものづくりや教養体験など、子どもの興味に沿ったプログラムの再検討が必要	生涯学習課 4
129	スポーツ活動推進のための企画立案														
130	各種スポーツ団体への支援	ジュニアスポーツ活動を支援するため、スポーツ少年団等の団体と連携を図る。	生涯学習課	実施	継続		○	○	体育施設等利用料の全額免除 全国大会以上への出場者に激励金交付 スポーツ団体バス運転支援を実施	A	5.0	未	スポーツ少年団が大会に出場する際にバスの運行支援をしている。全国大会出場者への激励金交付は回数制限をなくし交付している。体育協会を通じてスポーツ少年団の活動に補助金を交付している。	現状どおり実施する。	生涯学習課 5
131	幼児教育等の充実と情報提供														
137	ブックスタート	1歳児とその保護者へ絵本の贈呈や読み聞かせのアドバイス等を行い、読書に親しむきっかけを作る。	生涯学習課	実施	継続		○	○	毎月2回、1歳の誕生日を迎えた赤ちゃんとその保護者を対象に、子育て支援センターぱびぶと 広神図書館で実施 絵本のプレゼントと併せて絵本を開く楽しさをPR	B	3.3	済	ブックスタートバック(絵本・コットンバッグ等)の引渡し率は昨年度と同程度の80%前後 他課所管の乳児健診で関連リーフレットを配布してもらっている。	現状どおり実施する。	生涯学習課 3
141	その他の教育関係一覧														
142	奨学金	経済的な就学困難者の支援	学校教育課	実施	継続		○	○	平成26年度は、新たに29名の方を奨学生に採用し、継続貸与の方と合わせて103名の方に奨学金の貸付を実施	A	4.3	済	平成25年度末未納残高7,136千円に対し今年度は2,400千円回収見込み(徴収率33.6%)	引き続き徴収率の引上げと滞納額の縮減に努めたい。	学校教育課 4
160	交通安全教育の推進														
162	交通安全教育	市内の園、小中学校対象に教材を利用した交通安全教室等の開催	まちづくり室	実施			○	○	市内の園、小学校の依頼に応じ、模擬信号機等を使用して交通安全教室を実施(全23回)	B	3.3	済	主に春から夏にかけて、市内の園・小学校を中心に、横断歩道の渡り方や自転車の安全運転指導等を、魚沼市交通指導員や小出警察署と連携し、交通安全教材等も活用しながら実施した。 また、県警事業として、広神中学校でスタントマンによる事故実演型の自転車教室を開催し、交通事故の悲惨さを体験することが出来た。 しかし、市内全ての学校等に対し実施できておらず、実施の場合でも指導員等が確保できるか日程上に問題がある。 教育器材は損傷が激しいため、平成27年度に更新を予定している。	一つでも多くの園・学校等から交通安全教室を実施してもらえるような取り組みを行うよう努める。	まちづくり室 3

魚沼市次世代育成支援行動計画(後期計画)平成26年度事業評価シート

連番	支援事業別基本方針等 施策(網掛け)及び取組・事業	事業の内容	部署	21年度	22~26年度	事業実施状況			事業評価欄			評価部署 点数(備考)		
						評価除外	26年度実施事業	26年度公表対象事業	評価		検証の状況		課題、評価事項(成果)	方向性、見直し提案等
									判定	項目点				
163	通学の安全と不審者情報の共有化													
164	児童生徒の安全確保事業	各地区のスクールガード(ボランティア)による通学時の見守り	学校教育課	実施	継続			研修会等を通じ、不審者情報や通学路危険箇所等の共通認識を持ち、安全な登下校の支援を実施 平成26年度は市内全小学校で381名が登録	B	4.0		スクールガード登録数は平成24年度は396人、平成25年度は353人と大幅に減少した。 平成26年度は、連合自治会長会議や学校での呼びかけにより増員となった。 今後も呼びかけを継続する必要がある。	児童数の減少により、複数人の通学が困難となり、不審者等による被害を受けやすい状況になってきている。スクールガードの見守り強化のため、人員確保と効果的な見守り体制を構築する必要がある。	学校教育課 4
174	被虐待児家庭への支援													
176	養育支援訪問事業	養育支援が必要な家庭に対して、訪問による支援を行う。	子ども課 健康増進室	実施	強化継続			保健師等が訪問指導にあっている。	B	3.5	未	養育環境に問題のある家庭には、保健師等が家庭訪問を行い支援している。	現状どおり実施する。	子ども課 3 健康増進室 4
177	障害児等要支援者への一貫した支援体制の整備													
178	つくしプレー教室	発達に課題のある就園前児童の療育教室	子ども課	実施	継続			1月末現在、水曜クラスと木曜クラス、2月から金曜クラスの3クラスで、対象児20人	B	3.3	済	非常勤職員中心の運営のため、知識の蓄積が課題である。 教室参加者アンケートから、ぱびぷに行っている時は、他の子どもと自分の子を比べてしまいがちになりマイナスにすべてとらえていたが、教室に通い育児をしている自分に心のゆとりができ、子どもの成長を見られてよかったという感想をいただいた。	研修会の参加を通して、非常勤保育士の知識や技術の向上を図る。 実施体制の検討を行う。	子ども課 3
179	ステップアップ教室	発達に課題のある就学前児童の療育教室	子ども課	実施	継続			1月末現在、5月から2月の3クラスで対象児19人	B	3.3	済	非常勤職員中心の運営のため、知識の蓄積が課題である。 教室参加者アンケートから、小集団の中での行動する姿が見れたことや、育児で悩んでいる時、先生方からアドバイスをさせていただいたり、自分をフォローしていただいて良かったという感想をいただいた。	5月からのスタートを4月中旬よりスタートする。 ペアレント・トレーニングかペアレント・プログラムを導入する。	子ども課 3
181	支援ファイルの活用	教育、医療、福祉、労働等の関係機関と連携による相談支援を継続的に実施するための「相談支援ファイル」を作成、活用	厚生室 学校教育課 子ども課	実施	検討⇒実施・継続			(厚生室) 市の障害児支援体制の強化を目的に魚沼市自立支援協議会に「療育支援部会」を設置し、関係機関の連携を図った。 (子ども課) ステップアップ教室参加児の保護者にファイル配布し、使用方法等を説明した。	B	3.3	済	(厚生室) 学校、保育等従事者向けのファイル活用について周知、啓発が必要 (子ども課) 5歳児の段階では、保護者は我が子の将来について漠然とした不安はあるが具体的にはなっていないため、ファイルは、希望者でなく全員に渡しているが、渡しが難しい。	(厚生室) 従事者向け、保護者向けの啓発 (子ども課) 様々な機会を捉えた啓発が必要である。	子ども課 3 厚生室 3
182	保育園や放課後児童健全育成事業等における障害児の受け入れ													
185	保育園等訪問事業	発達に課題のある児に対しての支援方法について、専門性を有する関係者で支援チームを作り、園訪問を行い、保育士等に対し、助言を行う。	子ども課	実施	継続			保育園、幼稚園を年間3回、地域療育指導員及び支援センター保育士が訪問を行い、支援を担当する職員に対して、対応に関する助言や支援方針の検討を実施	B	3.3	済	対象者は、園に通園する年少児、年中児、年長児で、発達の偏りや行動上の問題があり園、家庭生活における困り感を抱える児で、ケースに応じてより専門的な立場から保健師や長岡療育園及び県立小出特別支援学校の先生からも協力いただき、連携を図ることができた。	専門性を有する人材の活用を進め、事業を継続する。	子ども課 3
186	相談支援事業	「うおぬま相談支援センター」に委託し、身体、知的、精神、発達障害等を対象に様々な相談に対応するとともに、関係機関との連絡調整を図る。	厚生室	実施	継続			平成26年12月末現在、実数118人の障害児相談を受けて相談及び支援を実施	A	4.3	済	相談の先のサービスの拡充が課題 ・児童発達センター ・放課後デイサービス ・日中一時支援	魚沼市自立支援協議会「療育支援部会」等で検討を行う。	厚生室 4

評価除外欄: 法的なもの、評価にそぐわない取組・事業は「●」を記入済
 25年度に評価除外としたものは、「●」を記入済
 H26年度実施事業欄: 今年度実施(予定)の事業は「○」を記入済
 今年度で完了した事業は「●」に変更して記入
 H26年度公表対象事業欄: 今年度評価を公表する重点事業は「○」を記入済

内容の変更が必要 C 2. 1未満
 ほぼ達成した B 2. 1~4. 1未満
 達成した A 4. 1以上